

中国に通貨処理機器の生産工場を建設 海外でのマーケット拡大を目指す

【概 略】

弊社は、中華人民共和国（以下 中国）市場向け紙幣計算機、紙幣整理機など各種通貨処理機の生産・販売・アフターサービスなどを事業とする会社「光栄電子工業（蘇州）有限公司」を本年 2 月に中国江蘇省蘇州市に設立いたしました。新会社設立以後ようやく、生産工場の建設を本年 7 月末に着工し、来年 2 月より生産を開始する予定となりました。なお、海外生産拠点としては、1994 年フィリピンに設立の GLORY(PHILIPPINES),INC.に次いで 2 番目となります。

現在弊社の輸出売上高は、全売上高の 10%程度で、地域別売上比率はヨーロッパ地域で約 40%、アメリカ地域で約 30%、そして残りが主にアジア地域などです。中でも近年急激に台頭する中国は、あらゆる産業の世界の工場かつ巨大マーケットとして注目を集めており、通貨処理関連製品の需要も徐々に高まっております。

中国には、2001 年に子会社 グローリー商事株式会社が、ビジネスの拡大を目的に、香港に販売会社 GLORY CASH HANDLING SYSTEMS (CHINA) LTD.を設立し、以後本格的に拡販を図ってきました。

今後、中国経済発展に伴い、金融機関市場はもとより、流通市場などが拡大することを睨み、まずは現地で直接マーケティング活動を行い、タイムリーな生産活動を実施します。

「光栄電子工業（蘇州）有限公司」の本社・工場の選定については、労働力の面、部品調達の面、物流の面など総合的に考慮し、経済発展が著しい上海にも近い江蘇省蘇州新区に決定しました。用地は中国政府から工場用地として約 35,000 m²を借用し、約 3,500 m²の建物を建設し、本社および工場として活用します。

現地法人の機能は製品開発、加工・組立生産工場、営業、アフターサービス、IPO（国際部品調達）とし、要員は日本人スタッフも含め、約 30 名程度の体制でスタートし、5 年後には約 150 名まで体制を強化する予定です。

来年 2 月から生産開始予定ですが、当面は中国市場向け商品の約 8 割を占める小型紙幣計算機と紙幣入金整理機の 2 機種を生産いたします。生産規模は初年度 小型紙幣計算機 約 15,000 台、紙幣入金整理機 約 400 台を目標に、売上高は 2007 年度に約 25 億円を計画しています。

現地での部品調達は、品質・納期・価格などを見ながら、徐々に拡大していき、工場稼働後 1 年を目処に現地調達率 70%以上を目指します。

さらに今後、弊社はグローリーグループ体となって、中国国内のニーズにあった製品をタイムリーに各市場へ提供するために、現地における製品開発も視野に入れた事業活動を積極的に行ってまいります。